

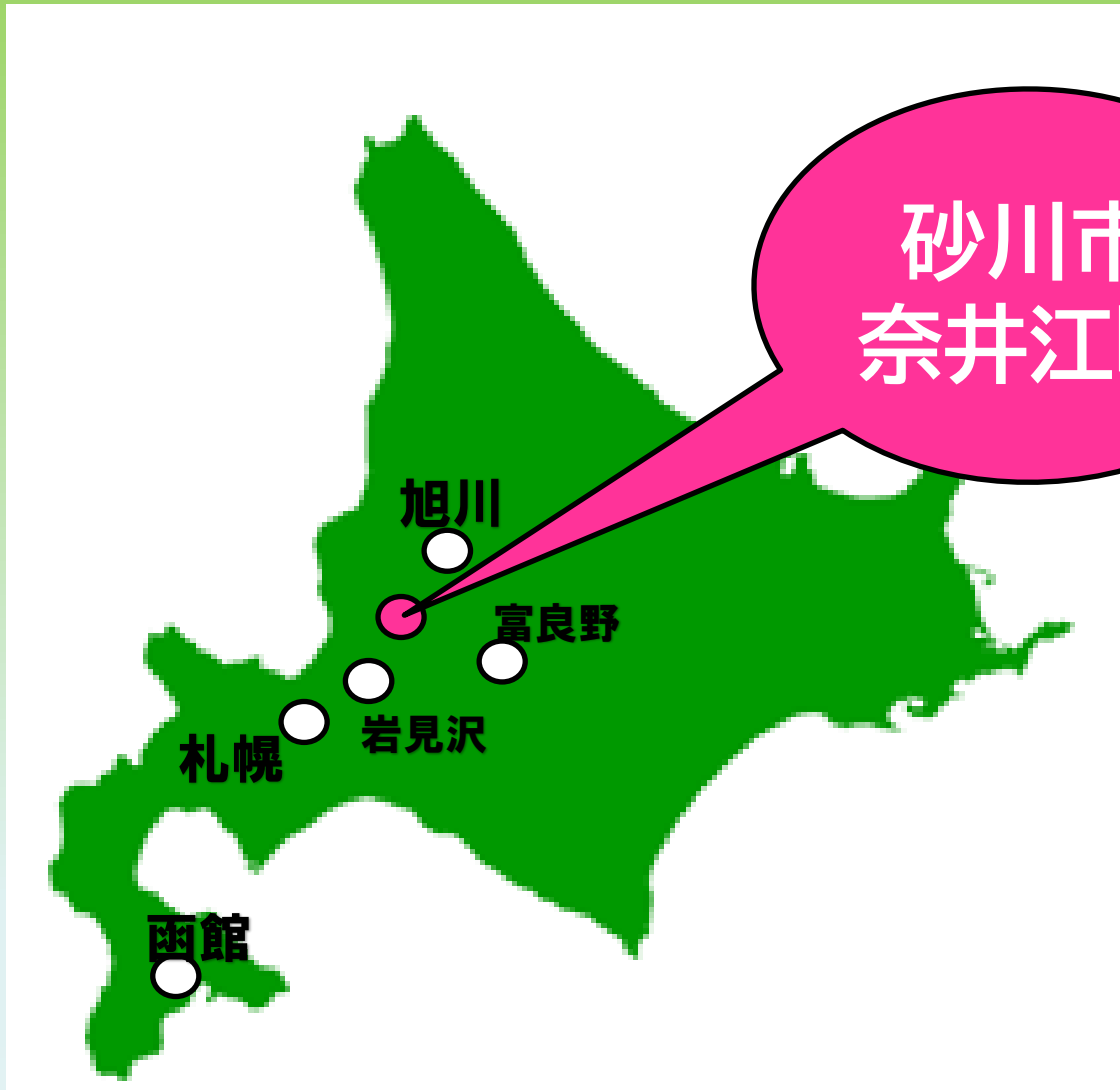


ゆめぴりかの里
カエル倶楽部の
取り組みのご紹介
～すべては美味しさのために～

 新すながわ

2024. 11

J A 新すながわエリア



砂川市
奈井江町

地域	砂川市・奈井江町
人口	砂川市 170百人 奈井江町 54百人
水稲面積	約16.5km ²
水稲生産者	151名

「JA新すながわカエル倶楽部」～より安心で安全なクリーン米の取組み～

高度クリーン米の生産概要

■ 生産組織：

JA新すながわカエル倶楽部
(代表：千徳 信行)

■ 令和6年産栽培内容

構成員 14名

作付面積 54ha

出荷俵数 4,561.5俵

■ 主な活動

施肥面談 (全戸)

栽培講習会 (全戸苗見、幼形期)

実際に田んぼに入る (生育、ドロオイ、いもち調査等)

中空知エコ米共和国の行事へ積極的に参加

(生き物調査、栽培講習会、現地視察)



カエル倶楽部メンバー

高度クリーン栽培のポイント

① おいしさ

☆ **タンパク値が低い**

☆ **新米同様の味・香りを維持 (利雪型低温倉庫での貯蔵)**

② 年間通じた品位の安定 (ライスターミナル調製)

☆ **美味しさと安全・安心の証し、認定マーク品**

☆ **全量ホクレンへ出荷、**

全国のこだわりのお米屋さんや販売店へ安定供給

③ 環境面への配慮

☆ **CO2排出抑制効果 (利雪型低温倉庫での貯蔵)**

☆ **使用農薬を可能な限り抑え、生態系への負荷軽減**

④ 向上心も持ち続ける生産者のこだわり米

☆ **現地研修会を実施し、常に栽培技術の向上を図る**

☆ **圃場を巡回・観察し、予察・適期防除に取り組む**

品質向上に向けた努力や特色ある栽培の取組みが評価され、平成26年度北海道米麦共励会にて「生産グループの部」「個人の部」で最優秀賞、23,26,27年には「個人の部」で最優秀賞を獲得しています。



化学薬剤	慣行栽培	高度クリーン米	慣行比
化学農薬	2.2成分	5成分以下	7.7%減
化学肥料	10kg	5kg以下	50%減

JA新すながわ ゆめぴりか関係図

カエル倶楽部（高度クリーン米） 14名

◎慣行栽培比化学肥料5割・化学農薬を7割以上削減し、タンパク6.5%以下の良食味米生産に挑戦し続ける米の匠達

◎特別栽培での実績、メンバー全員の承認が無ければ加入は許されない

◎低タンパク米以外の出荷には罰金が科せられる

（高度クリーン米）

※個人成績は組織内公表



特別栽培米生産組合 68名

◎慣行栽培比化学肥料・化学農薬を5割以上削減し、JA新すながわゆめぴりか憲章のタンパク基準6.8%以下の更に上6.5%以下を目指し生産

（特別栽培米）

※個人成績は組織内公表



ゆめぴりか生産協議会 110名

◎ホクレンのタンパク基準7.4%以下の更に上、6.8%以下を目指し生産

（農薬節減米・慣行栽培米）

※個人成績は組織内公表

「ゆめぴりか」憲章のポイント

「ゆめぴりかを作り一緒に儲けよう！」が合言葉

高品質、良食味の維持、向上のための栽培基準 12カ条

- ☆ 美味しさと品質を最優先するため目標収量510kg/10a（約1,000㎡）
- ☆ 土壌分析の実施、ケイ酸（美味しくなる）資材の積極的な投入等
- ☆ **稲わらの秋鋤き込みの実施等**

高品質、良食味の維持、向上のための収穫、出荷7カ条

- ☆ 実需者、消費者へ安定的に供給するため、飯米以外はJA出荷に努める
- ☆ 品位確保のためライスターミナルへの出荷を基本とする等

高品質、良食味の維持、向上のための品質基準5カ条

- ☆ タンパク基準は6.8%以下とする
- ☆ 3年間にわたり品質基準を達成できなかった場合自ら作付休止を検討する等

生産者が自ら課した厳しい内容となっている

2018年8月改正、全文についてはJA新すながわのホームページに掲載しています

J A 新すながわ米が出来るまで



施肥面談 (せひめんだん)



温湯消毒 (おんとうしょうどく)



苗生育調査 (なえせいいくちょうさ)



田植え



田んぼにのぼり



生育調査



生育調査②



ケイ酸 (美味しくなれ)
追肥



溝切り (みぞきり)
(田んぼ乾け)



稲刈り (収穫)

ライス
ターミナルへ

JA新すながわの米穀調製・供給体制について

JA新すながわライスターミナル



超低温貯蔵サイロ・色彩選別機（異物除去）

超低温貯蔵サイロ

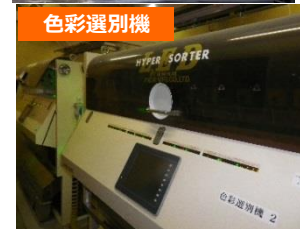


冬期間に氷点下5度以下の外気をサイロに入れ、粳を休眠状態にすることで品質劣化を防ぐ貯蔵方法です。夏でも新米に近い鮮度を保持するとともに、**クリーンエネルギー**の活用によるCO2削減に貢献します。

⇒450ト×10基（2基増設）

150ト×4基（1基増設）

色彩選別機



240chの色彩選別機により、**ブレのない高品質米調製**を行っています。

平成30年施設増強工事完了



全道初となる1時間当6tの処理能力を有する粳摺調製装置2台

収穫後、予備乾燥（水分17%）された粳が当RTに運び込まれ、異物除去や乾燥等の調製を行い、**従来の人調製では実現できなかった品位のブレが少ない**原料玄米に仕上げられます。

荷受形態	処理能力	色彩選別機（異物除去）
半乾粳	5,760ト/30日	240ch×2基

環境保全型農業の取組み

～雪エネルギーを利用した玄米貯蔵～

利雪低温倉庫（雪米の蔵）



- ①豪雪地帯ならではの取組として、環境に優しい雪エネルギーを活用し、玄米を13～14℃の低温で貯蔵しております。
- ②冷房の熱源に雪解け水を使うため、従来の機械式エアコンによる冷房と比較して使用電力量を約90%削減できます。
- ③春先の雪を貯蔵室に蓄え、玄米を低温保管することにより酸化を抑制し、新米風味の保持を図ります。

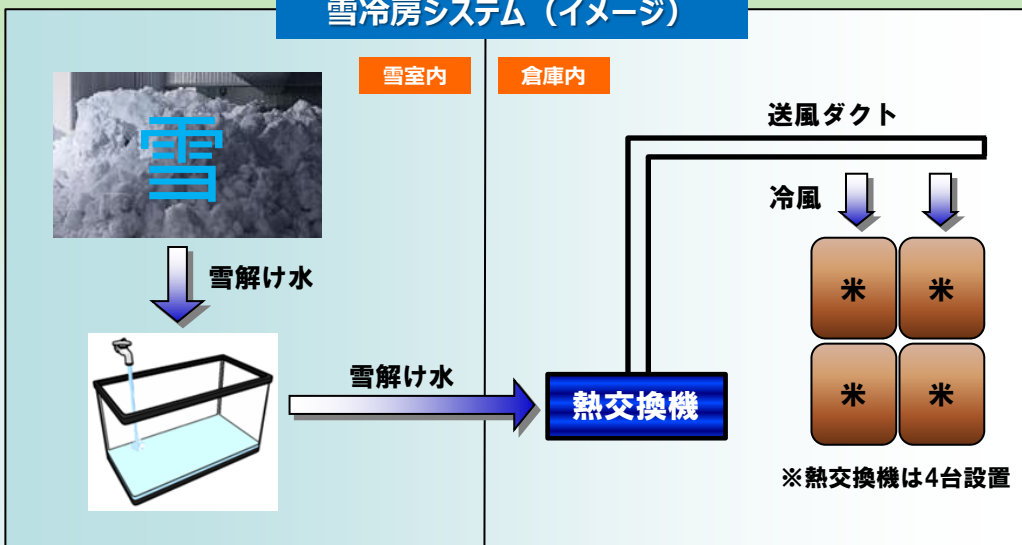
雪入れの様子



冬の奈井江町



雪冷房システム（イメージ）



利雪エネルギーの主な利点

- ①使用電力の削減
- ②CO₂排出抑制効果
- ③除湿効果
⇒古米臭の指標とされている脂肪酸度の上昇を抑制。
(新米同様の味・香りを維持。)
- ④除塵効果
- ⑤作物等の鮮度保持・糖度増加
- ⑥“エコ”なアイテムとしてのブランディングが可能

消費地、消費者へのPR活動について

SNS等で情報を提供しています



新すながわ農協 米穀課

<https://www.facebook.com/jashinsunagawa>



JA新すながわ特裁米PR DVD作成

「ユーチューブ」で産地PR

「JA新すながわ」で検索

販促資材を提供しています



ゆめぴりかの里リーフレット



ゆめぴりかの里ポロシャツ



ミニのぼり

缶バッジ



ゆめぴりかマスク



JA新すながわ米前掛け のぼりとゆめぴりかTシャツ



JA新すながわ専用米袋



新すながわキャップ



基本情報

部会名：JA新すながわ カエル倶楽部

品種：ゆめぴりか

栽培方法：高度クリーン米

農薬成分使用回数：5成分以下（慣行比77%減）

化学肥料使用量：5kg/10a以下（慣行比50%減）

出荷可能数量：85俵